



◆ アレルギー支援ネットワーク 通 信 ◆



NO. 86

2014. 2. 1

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

みなさまこんにちは。

2月は寒さの峠がくる頃ですが、立春を迎え、暦の上では春ですね。咲き始める花々、バレンタインデーなど春が少しずつ近づいてきていますね。

暖かくなってきますと、スギ花粉も飛散し始め、花粉症の人には辛い季節でもありますが、春から入園、入学を迎えられる方も多いと思います。

体調を整え、元気に気持ちよく春を迎える準備をしましょう。

==== も く じ =====

- 1、あいち小児保健医療総合センター・アレルギー科医師「リレートーク」第1回
- 2、第9期アレルギー大学開講記念講演&アレルギーっ子のフェア ご案内
- 3、防災のはなし 第4回 「共同備蓄」 防災士 中根 輝彦
- 4、東海アレルギー連絡会のご案内
- 5、防災フェスタのご案内
- 6、アレルギー講演会のご案内
- 7、「アレ大修了生☆リレートーク」 第13回
- 8、アレルギーっ子のおいしいレシピ 近藤 由美
- 9、アレルギーの子を持つ親の会からのメッセージ、活動報告 第4回
- 10、法人会員からのメッセージ スギヤマ調剤薬局
- 11、2月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ
- 12、勉強会・イベント開催のお知らせ
- 13、「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ
- 14、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内
- 15、募金にご協力ください

=====

- 1、あいち小児保健医療総合センター・アレルギー科医師「リレートーク」第1回

---

みなさん、こんにちは。あいち小児保健医療総合センターアレルギー科医師の漢人直之(かんどなおゆき)です。好評だった岩手医科大小児科の佐々木朋子先生の連載が終了し、しばらくの間、あいち小児センターアレルギー科医師を中心に、リレートークの形でこのコーナーを担当させていただくことになりました。そのトップバッター

が私というわけです。リレートークとはいえ、何か決まったテーマをリレーするわけではなく、おそらく徒然なるままに筆者が日々感じていることを書かせていただくことになると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、まずは自己紹介から。私の苗字である「漢人」という名前の人は非常に少なく、名古屋市には私の家族しかおりません。「中国の人(漢の人)ですか?」とよく聞かれますが、生まれも育ちも名古屋の、生粋の日本人です。

あいち小児センターには平成21年より勤務しており、もうすぐ丸5年になろうとしております。あいち小児センターの前は、福岡県の国立病院機構福岡病院小児科で2年間小児アレルギーの研修をして参りました。医師になる前の大学生時代は、それまでずっと野球をしてきたこともあり、「スポーツドクターになって、ドラゴンズかグランパスのチームドクターにでもなろう」なんて考えていたのですが、どこでどうなったか小児科医となり、気付いたらアレルギーが専門となっております。現在は、食物アレルギーの方をはじめとして、日々アレルギーを持つたっくさんのお子さんたちの診療にあたっています。

前置きが長くなってしまいましたが、今回は「バランス」「目標」という言葉をテーマに、診療を行なう上で私が大切だと考えていることを書いてみたいと思います。

私は何か物事を行なう際、様々な意味でバランスを保つことが大事だと考えています。もちろん、アレルギーの診療でもバランスについて意識しています。例えば、重症度の高いアトピー性皮膚炎の赤ちゃんがいたとします。生後数か月でほっぺはジュクジュク、首や上半身もザラザラで赤い湿疹がたくさんできていて、抱っこをするといつもかゆい顔をお母さんの服にこすりつけてきます。ゆっくり眠れず、1-2時間ごとに目をさましては泣いています。お子さんがこのような状況だったら、皆さんはお子さんにどうしてあげたいと考えるでしょうか?

医療者側の立場からこの赤ちゃんに対してガイドラインに基づいた標準的治療を行うことを考えてみると、まずは適切なスキンケアとステロイド外用薬を中心とした外用療法を行うこととなります。それでも思ったような改善が得られない場合は、アレルギーの関与を考えて血液検査や皮膚テストなどの結果を参考に食物除去を行ってみる必要があるかもしれません。アトピー性皮膚炎の診療ガイドラインでは、このように「スキンケア(皮膚の清潔保持と保湿)」、「適切な外用療法」、食物をはじめとする「悪化因子の除去」という3本柱のバランスを保ちながら治療を行い、良好な皮膚状態を保つことが治療目標とされています。

しかし、このガイドラインに基づく考え方はあくまで医療者側が作り上げたものであり、患者さんや保護者の方がすべて同じように考えるとは限りません。

『ステロイド薬はなるべく使いたくない』

『少しくらいかゆくても自然治癒力にまかせたいので、何も塗り薬は使わない』

『食物除去だけで何とか治してあげたい』

などなど、色々な考え方があって当然です。

従って、

「アトピー性皮膚炎ですね。湿疹がひどいからステロイドの塗り薬を出しておきます。」

『なるべく薬は使いたくないのですが…。』

「ガイドラインにも書いてあるし、こちらの指示に従っておけば大丈夫ですよ。」

などと、単に医療者側の考え方を押し付けてしまっただけでは、良好な治療を行えるはずはありません。

アレルギー疾患は長い付き合いになることも多く、患者さんと医師の間で治療目標を共有することがとても大切です。上の例において、かゆみのひどい赤ちゃんを何とかしてあげたいという気持ちは、医師も保護者の方も同じはずです。また、重症な乳児アトピー性皮膚炎では、ジुकジुकの湿疹から体内のたんぱく質が漏れ出して低たんぱく血症になったり、引き続いて起こる下痢により体重減少・脱水・低ナトリウム血症を生じて命が危険にさらされたりすることもあります。赤ちゃんをそんな厳しい状況に追い込みたくないということは共通しているはずで、このような共通している認識を確認しながら、

『ステロイドは、塗るべき時はしっかり塗り、よくなったら塗るのを1日おきとして副作用が出ないようにしながら湿疹の悪化を予防しましょう』とか、

『低たんぱくなどの重篤な合併症が心配される状況になってしまった場合は、こちらからステロイドを必ず塗って下さいと言いますので、まずはステロイドを使用しないで経過をみていきましょう』

などと目標を共有する、そんな関係が必要だろうと考えます。

もちろん、目標を共有することの大切さは他のアレルギー疾患でも同じです。ぜん息の管理で、積極的に薬剤を使用して症状が全くない完璧なコントロールを目指すのか、少ない薬剤で管理することを優先してなるべく早期に治療のステップダウンを目指すのか。食物アレルギーで、少しでも症状が出そうであれば安全性を重視して完全除去を続けるのか、摂取できる可能性を探るため多少リスクがある場合でも経口負荷試験を行って積極的なアレルゲン摂取を目指すのか。それぞれの方針にはメリット・デメリットがあります。医師と患者さんの間で具体的な目標を共有するためには、医師からそれぞれのメリット・デメリットを正しくお伝えしなくてはならないと思います。

一方、患者さんとしては医師に方針を任せきりにしないで、自らの意見をしっかり持って医師に伝えていただくことが大切だと私は考えています。アレルギー疾患を持つ人の多くは普段元気であるため、改めて治療目標を考える機会は少ないかもしれません。しかし、医療者と目標を共有するためには、患者さんとしての考えをまとめておかなければなりません。インターネット、ママ友、雑誌などから非常に多くの情報が流れてくるとは思いますが、自分にとって都合の良い情報のみを取り入れてしまうことのないようにしましょう。得られた情報を自分なりに整理し、疑問点は医師に確認してください。医師が説明する内容は多くの経験や過去の報告に基づいていますので、自分の考えていた方針と説明された内容が異なる場合でも、参考にする価値があるはずで、

患者さんと医療者の間で良いコミュニケーションがとれれば、きっと良い医療を受けられるはずで、皆さん、ぜひ自分なりの目標を立てて、それを医療者と話し合い、バランスの良い医療を受けてください。

最後までお付き合いいただきまして、ありがとうございました。

---

## 2、第9期アレルギー大学開講記念講演&アレルギーっ子のフェア ご案内

---

今回の「アレルギーっ子のフェア」も、盛りだくさんのイベントを企画いたしました！

まず、目玉といたしまして、両日開催の「わくわくスタンプラリー抽選会」です。

その日の出展ブースの、スタンプを全て集めていただければ、どなたでも豪華なアレルギー関連商品が当たる可能性、大です！

また、3月8日(土)のミニシンポジウムでは、昨年、作成されました名古屋市の「食物アレルギー対応の手引」について各方面の方からお話を聞くことができます。

春から、園、学校に入学されるお子さまがいらっしゃるご家族の方は、是非この機会に聞いていただき、今後の入園・入学の準備にお役立てください。

3月9日(日)の講演会は「おいしく、楽しく、安全に食べるアレルギー食」です。  
アレルギーっ子も、家族もみんなが笑顔で食事ができるために、一緒に学びましょう。  
その他に、家族やみんなで参加いただける「子どもお楽しみ企画」もあります。

みなさま、お誘い合わせ併せのうえ多数ご参加ください！  
お申込みを心よりお待ちしております。

3月8日(土)・9日(日)開催

「第9期アレルギー-大学開講記念講演&アレルギーっ子のフェア」

会場：名古屋国際会議場 2号館展示室 211・212

時間：3月8日(土) 10:00~17:00 3月9日(日) 10:00~16:00

お申込みは、チラシの「申込用紙」に必要事項を記入していただき、FAX またはメールでお願いいたします。  
HPの「フェアお申込メールフォーム」からも可能です。

※必ずチラシの内容をご確認ください。

専用お申込フォーム：<http://alle-net.com/fair/form/form.cgi>

お問い合わせ専用アドレスはこちらです fair-u@alle-net.com

FAX：03-6893-5801

---

3、防災のはなし      第4回    「共同備蓄」      防災士 中根 輝彦

---

メルマガをお読みのみなさん、こんにちは。防災士の中根輝彦です。防災の話題も4回目。これまでの3回で「自助」「共助」「公助」について、思うところをお話してきました。今回からは、アレルギー支援の取り組み事例について、具体的に紹介していきます。

今回は災害用非常食の備蓄についてのお話です。

みなさんは、備蓄食料を何日分備えていますか？いろいろなところで「3日分」の水と食料を備える必要があると指摘されていますが、いかがでしょうか？最近では3日分ではなく「1週間分」が必要という指摘も聞かれるようになってきました。

阪神・淡路大震災などの教訓から、「救助の手が差しのべられるまでに3日はかかる。初動 72 時間は地域の助け合いで。」の掛け声から「3日分の備蓄」が定着しました。これは単に事例からの教訓であって、3日分あれば必ず助かるという保障ではありません。たくさん備蓄すればより安心できるが、その分負担も増えることから、妥当なバランス点(あるいは必要最小限のレベル)を見つけているだけのことです。

ところが、東日本大震災では、被害が広範囲の地域におよんだことから、支援する側/される側の「供給と需要の比率」が従来の災害と全く異なり、支援する側の供給量が圧倒的に不足となり、4月になっても支援の手が差し伸べられなかった地域もありました。

また、南海トラフ巨大地震や首都直下型地震のような大規模災害の想定・被害予測が出されて、必要な対策や備えも要求レベルが上がってきました。要求レベルが上がったからといって、備蓄を増やすことはそんなに簡単ではないという声が、いたるところから聞こえてきそうです。

どんなにがんばっても、自助として備蓄できる量には限界があり、復興自立まで必要な数年分の量をすべて自前で確保するのは無理です。自助と共助をうまく組み合わせて、相互支援する仕組みを作るのが妥当な策だと思います。備蓄する食料を「自分が被災したときに食べる＝自助」と「どこかで災害があったら支援物資として提供する＝共助」のどちらにも活用するという考え方です。

仙台市のある町内会やその近隣の団体が、「民間ベースの食料備蓄・相互供給支援体制」構築の呼びかけを始めました。前述の仕組みを具体化しようという取り組みです。考え方に賛同できるところ、準備ができたところからネットワークを作って、ゆくゆくは全国規模に広げたいというものです。各家庭に備蓄食料が蓄えられ、全国規模の巨大な分散食料庫となり、災害のたびに支援し合う。壮大な規模の「共助」体制が出現します。

あれ？この仕組みは…、とピンときた方もいらっしゃるでしょう。アレルギー対応では、すでにアレルギー支援ネットワークや地域の患者（とその家族）の会が、取り組まれていますよね。同じ悩みを抱えるからこそ互いに支援しあえる体制をと望むのは、アレルギーに関わらず、どの分野でも同じようです。

この「食料備蓄・相互供給支援体制」、地域防災組織のネットワークとアレルギー支援ネットワークや患者会のネットワークがコラボしたら、非常に心強いものになると思います。そんな思いから、私の地元で今年度の地域防災活動の一環として、「救援物資（アレルギー対応備蓄食）搬送訓練」をしました。

今回は、災害備蓄食料を「自分が被災したときに食べる＝自助」と「どこかで災害があったら支援物資として提供する＝共助」のどちらにも活用するという事例について紹介しました。

次回は、「救援物資（アレルギー対応備蓄食）搬送訓練」の事例を紹介します。

防災士 中根輝彦

日々つぶやいています。

@TeruhikoNakane

内容は筆者個人の考え方に基づくものです。アレルギー支援ネットワークを代表するもの、方針を反映したものではありません。

ご意見ご感想をいただけると嬉しいです。次の原稿を書く励みになります。アレルギー支援ネットワークの事務局まで、お寄せ下さい。

宛先: info@alle-net.com

---

#### 4、東海アレルギー連絡会のご案内

---

～ 東海アレルギー連絡会の交流会 2/9(土)に開催します、～

東海地域には、約 40 の患者会が、それぞれの市町において活動をしています。

東海東南海地震が、いつおきてもおかしくない状態であると言われ始めて久しいですが、東海アレルギー連絡会は、阪神淡路大震災後に、「アレルギーっ子の防災対策をしよう! 」と、東海地域の患者会のうち、参加を希望する団体が集まって結成いたしました。詳しくは、HP をご覧ください。

<http://www.alle-net.com/network/network04/network04-02/>

活動は主に、年に 3-4 回の交流会で、防災対策についての勉強会・意見交換・情報交換などを行っています。

次回の交流会は、以下のとおりです。各患者会から、何人参加をしていただいても結構ですし、患者会がない地域の方などは個人のご参加も大歓迎です。

災害対策について不安な方、興味のある方は、どうぞご参加ください。お子様連れでも OK です。

日時:2/9(土) 13:30-16:30

場所:中村生涯学習センター 第3集会室

議題は・・・

各会の会員同士の災害時の連絡体制について

各会の災害時連絡担当者確認

訓練日程について

災害対策用お勧めグッズ紹介(足代智志氏)

その他 第14回食物アレルギー研究会報告

各団体の活動報告など

を予定しています。

参加申込: [info@alle-net.com](mailto:info@alle-net.com) まで

皆さまのご参加をおまちしています。

具体的、実践的な「アレルギーっ子の防災対策」についてお話し合いをしましょう!!

東海アレルギー連絡会

## 5、防災フェスタのご案内

---

「防災フェスタ」とは、2007年3月、市民・大学・企業・行政の協働によりスタートし、その後、「この地域を災害に強いまちに！」との思いから、市内各地及び近隣市域で開催されているものです。

今回は、南区での開催となりました。

日程:2月23日(日)

場所:日本ガイシフォーラム(旧サン笠寺 南区東又兵衛町5丁目1-16)

レセプションホール及び交通広場

時間:10:00~15:30

入場:無料

詳しい内容はまだ未定ですが、参加協力団体による出展ブースでのいろいろな体験や、防災グッズ・備蓄食品の展示など、家族みんなで楽しく学べる催しを企画しております。

災害はいつくるか予測不可能です。この機会に、防災対策について、一緒に考えましょう。

みなさま、お誘い併せのうえ、ご来場ください。

※詳しい内容が決まりましたら、ホームページにてお知らせいたします。

主催:なごや災害ボランティア連絡会

共催:名古屋みなみ災害ボランティアネットワーク

〒457-0058 名古屋市南区前浜通 3-10 南区役所 4階 南区社会福祉協議会内

(TEL:052-823-2035)

企画・運営:南区役所・南消防署・南区社会福祉協議会

名古屋大学環境学研究科 飛田、護研究室・名古屋大学災害対策室

---

## 6、アレルギー講演会のご案内

---

津島保健所でアレルギー講演会を開催いたします。

アレルギーの症状は「大丈夫」と思ってもすぐに対応が必要な場合があります。

そこで今回は、見落としやすいアレルギー症状について、あま市民病院・小児科部長 菊池哲先生を講師にお招きし講演をしていただきます。

アレルギー疾患を持つお子さんの日頃の生活で不安なこと、悩みを是非ご相談ください。

みなさまのご参加をこころよりお待ちしております。

日時：平成26年2月21日(金)  
午後2時30分から午後4時30分まで

場所：愛知県津島保健所 2階大会議室

お申込み方法：

下記の連絡先にお電話でお申込みください。

＜お問い合わせ・申し込み先＞

愛知県津島保健所 健康支援課 地域保健グループ(水野)

電話0567-26-4137

---

#### 7、「アレ大修了生☆リレートーク」 第13回 石垣範子

---

25年前、娘が生まれた頃は、アトピー性皮膚炎と言われても、文字通りアトピー(奇妙)なものでした。医師の中でも、いろんな説があって栄養相談をしていた私も何をより所にして答えればいいのかわからず困っていました。

それから研究も進み、メカニズムもだいぶ解明されてきました。

アレルギー大学では最新の情報を取り入れて講義が行われています。アレルギー支援ネットワークでは東日本大震災・茶のしずく・給食によるアナフィラキシー事故などの不幸な出来事の時の支援活動をし、その教訓を生かしアレルギー大学に取り入れています。

また講師は、医師や食品学・調理・食品会社などいろんな分野での方々がいらっしや、受講者も保育士・学校やホテルの調理師・栄養士・患者会の方など多岐にわたり、いろんな意見に触れることができます。

アレルギーで困っている人に役立つ講義だと思います。

---

#### 8、アレルギーっ子のおいしいレシピ 近藤 由美

---

「鬼は～外、福は～内♪」もうすぐ節分ですね。

和風の煮豆も美味しいですが、今回は洋風煮豆にしてみました。

良質なたんぱく質を摂り、風邪をひかないように体調を整え、春を迎えましょう。

---

#### 9、アレルギーの子を持つ親の会からのメッセージ、活動報告 第4回

---

はじめまして。豊田アレルギーっ子ママの会の鳥山です。

私たちの会は、月一回松坂屋9階の「あいあい」活動室で活動を行っています。

活動内容は近況報告や情報交換を中心にみんなで和気あいあいと話しています。

アレルギーの会...なんて聞くと敷居が高くなかなか参加しづらいと思っていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。私自身もそうでした。

除去してねと言われるがまま除去だけをしていた先の見えなかった頃は、アレルギーのない子のママなどから「かわいそうだね」と言われるのがすごく苦痛だったのを覚えています。会に参加するようになって、いい病院を教えてもらい、幼稚園入園の目途もたつようになると自然とそんなことも言われなくなりました。きっと以前の自分は余裕のない顔をしていたのでしょう。それだけ私にとって会で皆さんのお話を聞けることは大きな意味がありました。

今悩んでいる方も小さなお子さんを抱えたママさんが多いかなと思います。

私たちは、お医者さんでも栄養士さんでもないので専門的なお話はできません。

でも、旅行・外食はどうするの？アレルギー対応食ってどこで買う？入園は？？なんて質問にはお答えできます。そんな雑談でも普段の悩みをちょっと軽くできると思います。

会への参加資格は2つです。お子さんの年齢制限はありません。

1)豊田市在住・在勤の方 2)アレルギー疾患で医師の診断を受けている方  
悩んでいる方・興味のある方は是非一度見学にお越しください。

過ぎてしまえばあっという間のちびっこ期間、一緒に楽しく子育てしましょう！

---

10、法人会員からのメッセージ スギヤマ調剤薬局

---

**【スギヤマ調剤薬局 御器所店は、アレルギー配慮のバレンタイン関連商品も販売中♪】**

～バレンタイン関連商品の紹介～

**◎元祖板チョコ(辻安全食品)**

専用ミキサーで長時間、チョコレート生地を練り込みました。

ミルクを全く含まないスイートチョコです。

苦いカカオマスに砂糖(本品はてんさい糖)とカカオ油脂を加えて作るのが、伝統的スイートチョコです。

スイートチョコ本来の美味しさを感じて頂けます。

ご自宅でガトーショコラ、チョコレートクッキー等製菓材料にもお使い頂けます。



原材料:カカオ油脂、てんさい糖、カカオマス

内容量:100g

販売価格:439 円(税込)

(定番で扱っておりますので年中お買い求めいただけます)

#### ◎ドキドキハートクッキー雑穀(げんきタウン)

★かわいいくまちゃんとハートのクッキーがぎっしり詰まったバレンタイン限定クッキーセット。

★国産有機のさつま芋、紫芋、海外オーガニックのキャロブパウダーを使用。



★特定原材料を使用しない専用ラインで、専属スタッフが製造しています。

#### 原材料

[くまちゃんクッキー]:さつま芋でん粉、砂糖、有機さつま芋、有機紫芋、ひえ、菜種油、食塩、キャロブパウダー

[さつま芋クッキー]:さつま芋でん粉、砂糖、有機さつま芋、ひえ、菜種油、食塩

[キャロブクッキー]:さつま芋でん粉、砂糖、有機さつま芋、ひえ、菜種油、キャロブパウダー、食塩

さつま芋でん粉・・・鹿児島県産

てんさい糖・・・北海道産

有機さつま芋・・・国産

有機紫芋・・・国産

ひえ・・・岩手県産

キャロブパウダー・・・イタリア産 オーガニック

菜種油・・・オーストラリア・カナダ産 非遺伝子組換

食塩・・・佐賀県産 自然海塩

内容量: 25g × 3袋

販売価格: 630 円(税込)

(バレンタイン期間限定商品です)

### ◎ドキドキハートクッキー雑穀(げんきタウン)

★かわいいくまちゃんとハートのクッキーがぎっしり詰まったバレンタイン限定クッキーセット

★国産有機の紫芋、海外オーガニックのココアを使用

★乳・卵を使用しない製造ラインで、専属スタッフが製造しています



### 原材料

[ベアークッキー]:小麦粉、砂糖、有機紫芋、菜種油、ココアパウダー、食塩

[プレーンクッキー]:小麦粉、砂糖、菜種油、食塩

[ココアクッキー]:小麦粉、砂糖、菜種油、ココアパウダー、食塩

※砂糖は北海道産のてんさいグラニュー糖、菜種油は非遺伝子組み換え、食塩は自然海塩を使用しています。

内容量: 30g × 3袋

販売価格: 630 円(税込)

(バレンタイン期間限定商品です)

### ～スギヤマ調剤薬局御器所店の紹介～



平成元年に、アレルギー専門の「みちはたこどもクリニック」さんの横に開局して以来、スギヤマ調剤薬局 御器所店は様々なアレルギー対応食品を扱ってきました。アレルギーでお困りの方も笑顔で日常生活が送れるよう、皆様のお力添えができればと思っています。

### ●アレルギー対応食品がこんなにたくさん！！

初めて来局されたお客様は、皆一様にアレルギー対応食品の品揃えの多さに驚かれます。今まで送料を別々に払ってネットで買っていたものが全部揃う！とのお声も頂戴しています。その品揃えは・・・食品だけでなんと400 アイテム以上！

## ●どんな商品があるの??

当店においてある食品はすべて乳・卵不使用です。グルテンフリーの米パンや米粉麺、米粉ミックス粉はもちろん、当店売上 NO.1 の「卵を使ってないマヨネーズタイプ」や大豆小麦不使用の「白菊しょうゆ」、牛乳由来成分を含まない「A-1 マーガリン」などの調味料類から、外出時に便利なレトルト食品や、小麦を使用しないクッキーなどのお菓子類、お子様に大人気のアレルギー対応冷凍ケーキやドーナツなど、多様な品揃えで皆様のお越しをお待ちしております。例年11月末ごろより、アレルギー対応のクリスマスケーキのご予約も承っておりますので、お気軽にご相談下さい。

## ●主な取扱メーカーは?

ウイングフーズ、エルフィン・インターナショナル、太田油脂、げんきタウン、千野米穀店、辻安全食品、中野産業、ヘルシーハットなど、たくさんのメーカーの商品を取り扱っております。

## ●製造ラインでのコンタミが心配です・・・

製造工場まで赴き、製造工程を確認した商品もあります。製造ラインの洗浄はどのように行っているのか、どのようなアレルゲンが工場内にあり、どのように管理されているか、製造ライン上でのコンタミの危険性はあるのか、などのチェックを行っています。微量混入でアレルギー症状が出てしまう方は、遠慮なく店頭スタッフにお尋ねください。

## ●店舗の場所はどこですか?

地下鉄御器所駅の3番出口を出てすぐのところにある「笑笑」という居酒屋を左折、20mほど歩いて右手側のビルの1階にあります。店舗前に3台分の駐車場がございますのでお車でお越しいただけます。満車の際は、店舗裏の第2駐車場(3台分)をご利用下さい(詳しい場所はスタッフにお尋ね下さい)。

## ●遠くて御器所の店舗まで行けないのですが・・・

ネットからご購入いただくこともできます。ドラッグスギヤマのホームページの「食物アレルギー対応食品専門御器所アレルギー店」のバナーをクリックしてください。

<http://sugiyama-club.jp/>

また、御器所店に直接 FAX や電話にて、ご注文いただくこともできます。いずれの場合も、商品は宅急便にてお送りさせていただきます。(送料、代引き手数料が別途かかりますが、10,500 円以上お買い上げいただくと送料、代引き手数料は無料になります。なお、冷凍・冷蔵商品の場合は、別途クール料金が必要になります。)

## ●自宅近くのドラッグスギヤマでアレルギー対応食品を買いたいのですが・・・

御器所店以外のスギヤマでアレルギー対応食品の取扱いがある店舗は、現在のところドラッグスギヤマ植田店とスギヤマ調剤薬局島田店のみになります。この2店舗におきましては取扱商品が限られておりますのでご注意ください。

そのほかのドラッグスギヤマではアレルギー対応食品の取扱いはございませんが、お取り寄せという形で御器所店の商品をお買い求めいただくことは可能です。ただし常温商品に限らせていただいております。

【取り寄せの手順】



キッズルーム(岐阜市芥見長山)

|                    |                                       |
|--------------------|---------------------------------------|
| 7日(金) あま市アレルギーの会   | 美和公民館                                 |
| 14日(金) アレルギー児親の会   | アレルギー支援ネットワーク事務所(予定) 15日(土) 刈谷アレルギーの会 |
|                    | 刈谷市民ボランティア活動センター                      |
| 18日(火) 緑アレルギーの会    | 片平ふれあいセンター和室                          |
| 20日(木) 名東アレルギーの会   | 名東区在宅サービスセンター・研修室2                    |
|                    | 豊橋アレルギーっ子の会                           |
|                    | 障害会館「さくらピア」児童保育室                      |
|                    | 豊川アレルギーっ子の会                           |
|                    | ウィズ豊川(豊川社会福祉2F和室)                     |
| 21日(金) 岡崎アレルギーの会   | 北部地域交流センター「なごみん」                      |
| 27日(木) 蒲郡アレルギーっ子の会 | 蒲郡勤労福祉会館 3F和室                         |

【お休み】

天白アレルギーの会、名古屋南部アレルギーの会、プチヴェール(日進・長久手アレルギーの会)

【対象】0歳～中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】各交流会に確認して下さい。

お申込は電話 052-485-5208 URL<http://www.alle-net.com/>

<mhtml:%7B391507A9-FDA5-4B61-A241-76B1EBC37C8A%7Dmid://00000148/%21x-usc:<http://www.alle-net.com/>>

皆さまのご参加をお待ちしております。

---

## 12、勉強会・イベント開催のお知らせ

---

アレルギーに関する勉強会や、イベント・情報などをホームページにて掲載しております。  
みなさまの、情報交換の場として、是非ご活用ください。

詳しくはこちらをご覧ください。<http://www.alle-net.com/info/info07/info07-08/>

---

## 13、「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ

---

【防災セットとは】

アレルギー支援ネットワークの、防災救援システムの一つです。

緊急時安否確認システム登録・データ登録シリコンバンドにより、アレルギー疾患を持つ患者家族の皆様が、アレルギー支援ネットワークと連絡を取り合える事を目的とし、

災害時・緊急時に患者の情報をスムーズに伝えるために役立つ緊急時(災害時)おねがいカードをセットにしま

した。

#### 【セット内容について】

防災セットは、緊急時安否確認システム登録・データ登録シリコンバンド1本・緊急時(災害時)おねがいカード 3枚がセットになります。

#### 【緊急時安否確認システム】

地震など大きな災害が発生した場合は、被災地域の登録者に対してアレルギー支援ネットワークより安否確認メールを送信します。

メールに返信していただくことで安否の確認をいたします。その際必要な情報がある場合希望内容をご連絡ください。

被災した現地の支援情報等得ることができている範囲での最新情報をお伝えいたします。

#### 【データ登録シリコンバンド】

シリコンバンドには安否確認システムにリンクする登録番号が印字されており、バンドを身につけていることで、緊急事態でも事前に登録された患者情報から迅速に救援の手配をすることができます。

#### 【緊急時(災害時)おねがいカード】

災害時に保護者と離れ離れになっても、周囲の人にアレルギー症状や除去食品、連絡先や主治医等の情報を正確に知らせるための携帯用カードです。

非常時にはもちろんのこと、平常時にも周囲に正確な情報を提供するために役立ちます。

#### 【防災セットお申し込みについて】

対象者:食物アレルギー、ぜん息、アトピー性皮膚炎などの患者本人または保護者の方

料金:アレルギー患者1人につき1セット無料(登録料・管理サービス料・送料などすべて不要です。)

注意・公益事業として助成金で作成費などを補っているため、無償サービスは先着1万名様となります。

有償になる場合は事前にHPでご案内いたします。

予備・追加について:予備の購入、紛失等による追加は、シリコンバンド1個250円、緊急時おねがいカードは1枚25円となります。

(送料・振込手数料は自己負担となります)

#### 【申し込みの流れ】

① 安否確認システムへの登録(アドレス表示)から登録してください。

[登録方法](http://alle-res.com/Contents/Menu.php)をご覧ください、<http://alle-res.com/Contents/Menu.php>よりご登録下さい。

(既にシリコンバンドをお持ちの方もまずは安否確認システムへご登録ください)

登録に使用するメールアドレスは、「@」より前に「」の使われているものはご利用になれません。

登録メールアドレスを設定する際に、メールフィルターをご使用の場合には、メールフィルターの設定を解除してください。

↓

②アレルギー支援ネットワークに登録情報が届く。

↓

③登録番号の決定(番号の指定はできませんので予めご了承ください)

↓

④登録番号の入ったシリコンバンド(1本)と緊急時おねがいカード(3枚)が届く。

(登録から発送まで、1～2週間ほどかかります。)

#### 【登録後】

災害時・緊急時にこのシステムを少しでもスムーズにご利用頂けるよう、日頃から3～4ヶ月に1度程度メール配信をいたします。

メールアドレス変更・登録内容の変更等は、防災ネットワーク・お問合せフォームよりご連絡ください。

現在、様々な状況に応じできる限りの情報提供ができるよう平時より体制を整える準備を進めています。

---

#### 14、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内

---

皆さまは、既にお持ちですか。

アレルギーに関わる皆様のバイブルとなる「食物アレルギーの基礎と対応」。

本書は、宇理須先生監修の下、アレルギー専門の医師やアレルギー対応給食の現場で活躍されていた先生等専門の方々執筆・編集協力をしていただき、充実した内容になっています。

アレルギーに携わる仕事をされている方、アレルギーのご家族がいらっしゃる方、アレルギーに関わる皆様はもちろん、アレルギーについて勉強がしたい、興味があるという皆様にもぜひ、お手元へ置いていただきたい一冊です。

---

#### 15、募金にご協力ください

---

※認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークは寄付金控除対象団体です※

「GiveOne 寄付サイト」<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10108>

『東海地域にアレルギーを持つ親子を地域で支えるサロンを』プロジェクト  
～アレルギーを持つ親の不安な気持ちを支え、子供たちの笑顔を守ろう！！～

(※GiveOneの寄付サイトでは引き続き掲載をさせていただきます。)

<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10290>

「東海ろうきん NPO 寄付システム」<http://tokai.rokin.or.jp/npo/index.html> を通じて寄付をお願いしております。寄付の方法や支援していただく事業などは、各リンク先をご確認ください。また直接の寄付および領収書発行等につきましては、下記事務所までお問い合わせください。

-----  
=====

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは  
asn-mailmagazine@alle-net.com（メルマガ編集部）までお願いします。また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。（メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。）

★メルマガの転載について  
無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、メルマガ編集部  
asn-mailmagazine@alle-net.com までお尋ねください。なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

☆ ★☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに関することなんでも OK です。  
ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

-----★みなさまからのご要望、  
お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

発行/編集 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0042 名古屋市中村区大秋町 2-45-6（3月5日に事務所はこの住所に移転致しました）

▽TEL : 052-485-5208      ▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----